

デロイト トーマツ ウェブレッジ株式会社

貸 借 対 照 表

2025年5月31日 現在

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	339, 504	流動負債	471, 082
現金及び預金	220, 487	買掛金	18, 106
売掛金	97, 782	短期借入金	330, 000
仕掛品	1, 843	リース債務	159
貯蔵品	264	未払金	8, 115
前払費用	13, 658	未払費用	70, 322
未収入金	1, 721	未払法人税等	4, 634
その他	4, 359	未払消費税等	19, 030
貸倒引当金	△ 614	前受金	6, 067
		預り金	14, 646
固定資産	1, 433, 855		
有形固定資産	24, 065		
建物	9, 000		
建物附属設備	5, 677		
構築物	362		
機械及び装置	2, 128		
車両運搬具	1, 075		
工具、器具及び備品	21, 122		
リース資産	1, 583		
減価償却累計額	△ 16, 884	負 債 合 計	471, 082
無形固定資産	1, 403, 365	純 資 産 の 部	
のれん	1, 402, 580	株主資本	1, 302, 277
ソフトウェア	785	資本金	20, 000
投資その他の資産	6, 424	資本剰余金合計	1, 866, 000
長期前払費用	1, 036	その他資本剰余金	1, 866, 000
敷金及び保証金	5, 387	利益剰余金合計	△ 583, 722
		繰越利益剰余金	△ 583, 722
		純 資 産 合 計	1, 302, 277
資 産 合 計	1, 773, 359	負債及び純資産合計	1, 773, 359

(注1)：千円未満は切捨てにより作成しています。

(注2)：当期純損失 (△) △182, 724 千円

個別注記表

自 2024年6月1日
至 2025年5月31日

I 重要な会計方針

1. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

- ・・・建物については定額法、その他の有形資産については、定率法を採用しています。
なお、主な耐用年数は以下の通りです。

建物附属設備	8～18年
構築物	20年
機械及び装置	17年
車両運搬具	3～4年
工具器具備品	2～10年

(2) 無形固定資産

- ・・・定額法
なお、主な耐用年数は以下の通りです。

自社利用ソフトウェア	5年
のれん	10年

(3) リース資産

- ・・・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

(4) 一括償却資産

- ・・・取得価額が10万円以上20万円未満の資産について、使用開始した年から3年間にわたって均等償却しています。

2. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

売上債権等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

3. 収益及び費用の計上基準

当社が計上している収益は、主にシステムの品質向上を支援する検証サービスであり、顧客との業務請負契約または準委任契約に基づいてサービスを提供することで履行義務が充足されると判断しています。
業務請負契約は、当該サービスの検収時点で履行義務が充足されると判断し、検収時点で収益を認識しております。
準委任契約は契約期間で一定の役務の提供をするため、期間の経過に応じて履行義務が充足されると判断し、期間終了時点で収益を認識しております。

4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理・・・税抜方式

II 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式の数に関する事項

株式の種類	普通株式
発行済株式数	37,720株

III 収益認識に関する注記

収益を理解するための基礎となる情報

「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。